

# 鷲谷栄一の 異見私見



この7月には熊本を中心に宮崎、鹿児島で記録的な豪雨と洪水。間もなく豪雨は東に飛んで岐阜、長野で。さらに福岡や大分、広島でも発生し、甚大な被害をもたらした。しかも日本でのこうした非常事態発生に目が釘付けになっている間に、お隣の中国でも記録的大雨による長江流域で洪水が発生し、東京都の人口を上回る1500万人もが避難し、経済損失は何と1・3兆円に及ぶ見通しとの報道もある。

異常気象は日本にとどまらず、地球規模で頻発しており、大雨、干ばつ、森林火災等が各地で発生している。

鬼頭昭雄「気候は変えられるか。」によれば、地球の気候の変動は、「大気・海洋・雪氷圏などからなる気候システム自体の内部変動

論されている」最中であるとされるが、近代化・工業化が盛んになった20世紀以降の気温上昇は明らかであるとともい、地球温暖化と

期を10万年周期で繰り返しており、現在は間氷期から氷期に向かう寒冷化の時代に入っていることから、むしろ寒冷化していく中では温室効果ガスによる温暖化現象は寒冷化を緩和するもので好ましいとの楽観論も少なかつた。

とところが現実はずうと気温が上昇しており、現在の進行速度が続けば2030年から2052年の間に1・5℃高くなる可能性が高いとの試算を発表している。そして現在と1・5℃、1・5℃と2℃との間には生じる影響に大きな違いがあり、2℃上昇すれば、熱波が増加し、居住地

を発生している。現状ですら既に異常気象が頻発し、甚大な被害が発生しているが、このまま気温の上昇とともに異常気象が加速度を付けて増加するとすれば、もはやこの青い地球は地獄と化しかねない。

## 異常気象は

## 行き過ぎた近代化・工業化への警鐘

によるもの「太陽活動や火山噴火などの自然強制によるもの」温室効果ガスやエアロゾルの排出さらには土地利用の変化などの人間活動に起因するもの」に分かれるとされる。目下、「このような温暖化による原因特定研究の方法自体が今まさに議

異常気象との因果関係は強く、異常気象が人間活動に大きく起因していることはもはや否定しようがない。ところで、つい10年ほど前までは地球は温暖化するよりは寒冷化するとの説が多数を占めていた。この60万年ほど地球は氷期と間氷

した甘い期待をせせら笑うように、温暖化圧力は強まる一方で、異常気象の度合いは並ではなく、しかも加速度的につけて進行している。

域のほとんどは酷暑に見舞われ、季節によっては居住が困難になりかねないとしている。そのうえで研究者等は「今後10～20年間の人類の行動が、地球が不可逆的な温暖化に突き進むか、それとも瀬戸際で踏みとどまるかの分岐点になる」と警鐘

を発生している。現状ですら既に異常気象が頻発し、甚大な被害が発生しているが、このまま気温の上昇とともに異常気象が加速度を付けて増加するとすれば、もはやこの青い地球は地獄と化しかねない。

異常気象は日本にとどまらず、地球規模で頻発しており、大雨、干ばつ、森林火災等が各地で発生している。

異常気象との因果関係は強く、異常気象が人間活動に大きく起因していることはもはや否定しようがない。ところで、つい10年ほど前までは地球は温暖化するよりは寒冷化するとの説が多数を占めていた。この60万年ほど地球は氷期と間氷

した甘い期待をせせら笑うように、温暖化圧力は強まる一方で、異常気象の度合いは並ではなく、しかも加速度的につけて進行している。

域のほとんどは酷暑に見舞われ、季節によっては居住が困難になりかねないとしている。そのうえで研究者等は「今後10～20年間の人類の行動が、地球が不可逆的な温暖化に突き進むか、それとも瀬戸際で踏みとどまるかの分岐点になる」と警鐘

を発生している。現状ですら既に異常気象が頻発し、甚大な被害が発生しているが、このまま気温の上昇とともに異常気象が加速度を付けて増加するとすれば、もはやこの青い地球は地獄と化しかねない。

(農的社會デザイン研究所代表)